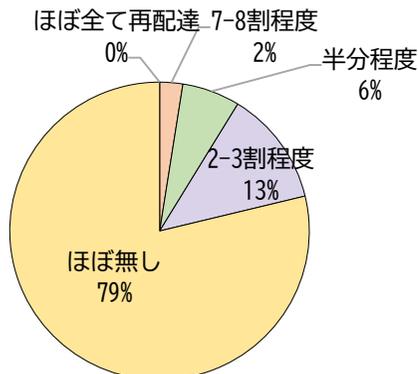


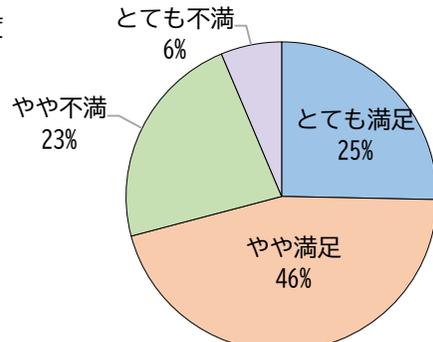
ひろさき置き配ボックス普及促進事業アンケート結果（概要版）

対象：ひろさき置き配ボックス普及促進事業で置き配バッグを配布した110名（弘前市内在住の18歳以上の方）
 期間：令和8年1月9日～2月13日
 目的：置き配バッグの活用状況等を把握するために実施したもの
 回答者数：80名
 回答率：73%
 アンケート結果：

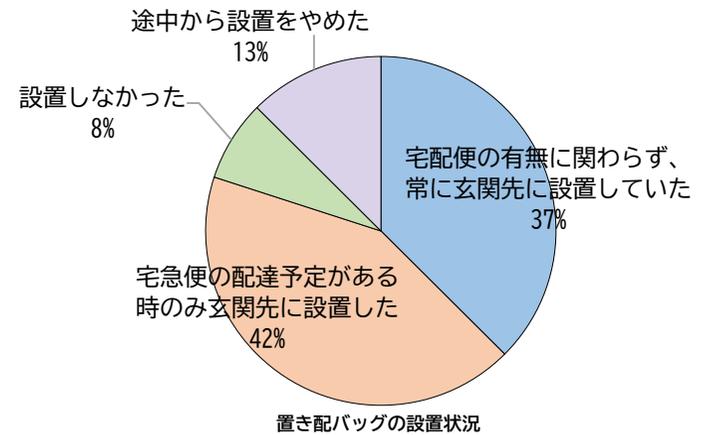
- ◆置き配バッグの設置により、「再配達がほぼ無し」と回答した割合は、**設置前の約3割から設置後は約8割に増加！**
 ⇒再配達の削減につながっています。
- ◆配布した置き配バッグについては、**約7割が「満足」と**回答しています。
- ◆生活の変化としては、「再配達への後ろめたさや申し訳なさが軽減した」や「対面受け取りを想定して予定を立てる必要がなくなり、時間の無駄が減った」といった意見が全体の約半数を占めています。



置き配バッグ設置後の再配達の程度



置き配バッグの満足度



置き配バッグの設置状況

- ◆置き配バッグを設置しなかった、または途中で設置をやめた方が約2割おり、設置条件や使い勝手が合わない、防水面への不安といった意見も見られました。
 ⇒ **各家庭の状況に応じた置き配バッグや置き配ボックスを選択することが重要です。**

【再配達の現状】

国土交通省（令和5年度及び令和6年4月期の調査）によると、
 ・宅配便の約1割が再配達。これは、**年間約6万人分のドライバーの労働力に相当。**
 ・再配達によるCO₂排出量は年間約25.4万トンと推計。
 ⇒物流の負担だけでなく、地球環境にも影響を与えています。

再配達削減のための「2つのポイント」を実践しましょう！

- ☑ 置き配バッグや置き配ボックスを利用するなど、対面以外の受け取り方法を選択する



- ☑ 宅配事業者が無料で提供する会員サービスを活用して、確実に受け取ることができる日時・場所を指定する

